

ZAIDAN NEWS LETTER

OCT/2013
VOL.19

HITACHI

Inspire the Next

- ◆公益財団法人 小平記念日立教育振興財団
- ◆公益財団法人 日立環境財団
- ◆公益財団法人 倉田記念日立科学技術財団
- ◆公益財団法人 日立国際奨学財団
- ◆公益財団法人 日立みらい財団
- ◆日立ファウンデーション(米国)

ZAIDAN Report

日立環境財団

●「環境賞」40周年

6月12日(水)、経団連ホールにて、第40回「環境賞」の表彰式を開催しました。今年度は40回を記念して、従来の賞(環境大臣賞、優秀賞、優良賞)に加えて「40回記念特別賞」を、永幡嘉之氏の活動テーマ「3.11巨大津波の生態系への影響調査と復旧事業への提言」に贈りました。また、当日来場の皆さまには、これまでの環境賞を振り返る記念誌と40回記念の絵葉書を配布しました。



この記念誌では、これまでの受賞テーマから、公害問題から地球温暖化、エネルギーなどへと移り変わる、各時代の環境問題の特徴を見ることができます。絵葉書は「40回記念特別賞」受賞者で、自然写真家の永幡嘉之氏撮影による、3.11の津波により被害を受けた沿岸地域の写真です。記念誌、絵葉書ともに残部がある限り無償でお分けしますので、ご希望のかたはお問合せください。

●2013年度「環境NPO助成」

本年度は全国より84件の応募があり、選考委員会による審査の結果、下記9団体へ総額800万円の助成を行いました。

- ◆自由対流圏内を運ばれるエアロゾル金属成分の富士山頂における動態観測と国際ネットワーク解析(富士山測候所を活用する会)
- ◆ベトナムにおける有機農業の実践による環境に配慮した生活改善(Seed to Table ~ひと・しぜん・くらしつながる~)
- ◆地域固有の環境資源を活用した「持続可能な地域社会づくり」の実践支援活動(環境文明21)
- ◆自治体における幸せ指標の調査研究および経済面も含めた地域の幸せ指標づくりへの提言(ジャパン・フォー・サステナビリティ)
- ◆海水と陸上温排水の異種再生可能エネルギーのハイブリッド化による新エネルギー利用計画に関する調査研究(海口マン21)
- ◆省エネ・エネルギー効率向上の可能性とその経済効果に関する分析(気候ネットワーク)
- ◆地域活性化に資する廃棄物の発生抑制の取組み促進のための企業と消費者のコミュニケーションおよびモデル事業(FoE Japan)
- ◆おきなの花道プロジェクト(山形県立村山農業高等学校 バイオテクノロジー部)
- ◆いわきオーガニックコットンプロジェクト(ザ・ピープル)

●環境サイエンスカフェの名講義が本になりました!

「気候変動を理学する」多田隆治(著)、日立環境財団(協力) みすず書房

環境サイエンスカフェの名講義が本になりました。これは、2011年2月から10月に、5回にわたって開催したテーマ「気候変動の科学」(講師:多田隆治さん(古気候学者、東京大学大学院 教授))の講演録をもとに書籍化されたものです。氷床や堆積物、年輪などから太古の気候の歴史をひも解き、地球環境のメカニズムを明らかにする。一見難解なテーマですが、サイエンスカフェのライブ感をそのままに、とてもわかり易い内容になっています。本書は全国書店にて、発売中です。

●「環境サイエンスカフェ」開催報告

第14回「ナマコ天国」～ナマコに学ぶ究極の省エネ生活～

講師:本川 達雄さん(東京工業大学大学院 生命理工学研究所 教授)
日時:2013年4月3日(水)
参加者:47名

第15回「中国から飛来する越境大気汚染」～黄砂、PM2.5、大気汚染～

講師:畠山 史郎さん(東京農工大学大学院 農学研究院 教授)
日時:2013年6月5日(水)
参加者:38名

第16回「地球温暖化とサンゴ礁」～温暖化にもっとも敏感な生態系～

講師:茅根 創さん(東京大学大学院 理学系研究科 教授)
日時:2013年7月24日(水)
参加者:43名

※講演録と会場の様子を、後日財団ホームページで紹介しています。



日立国際奨学財団

● 貧困を救うウベの応用開発

帯広畜産大学 食品科学研究部門 博士課程1年
デニス マリン オペー サンチアゴ
 Dennis Marvin Opeña Santiago (フィリピン大学教員)

私の母国、フィリピンは一年中暑く、平均気温は27～28度、日本のような四季はありません。そんな私がなぜ、日本最北の一番寒い島にある大学で博士号取得に挑戦しようと思ったかの理由は、私の指導教員のこおび小嶋先生の研究とそれに対する考え方に共感したからです。北海道とフィリピンは気候以外とても似ています。フィリピンも北海道同様、経済のほとんどは農産業に頼っています。もっとフィリピンの作物を広めたい、食べ物で人を助けたい、それが私の研究の原点です。

フィリピンにウベ(Ube)という紫芋に似た作物があります。栄養価が高くアントシアニンという抗酸化物質(酵素)が豊富に含まれています。それを使ったスイーツ商品は結構市場にあります。常に食卓に並べられるような食品はなく、どのように加工するのが一番良いのかを考えました。そこで目をつけたのが、麺類やパンです。日本の夏の伝統食、色の付いた冷麦・そうめんからアイデアをもらいました。この技術があれば、この種の芋が育つ貧困の国でも栄養価を残したまま日常食品に変えられます。ただ、思ったように色がうまく抽出できなかったりとまだ課題は多く残っていますが、心を込めて作られた農作物をもっと多数の人々にいい形で届けたいという気持ちで一つ一つ乗り越えていきたいと思っています。そして、自然の宝庫、北海道で勉強以上の人生経験を機会を与えてくださった日立国際奨学財団に感謝をしながら、残り2年半、研究だけでなくこの豊かな大地での生活を満喫し、今後指導員になっていく自分の良い経験になっていくよう精一杯やり遂げようと思います。



フィリピンでウベの市場調査



家族と帯広の公園で花見



友人と楽しむ初めてのスキー



左:小嶋先生 右:Dennisさん

研究室の仲間とオンネトー湖散策

小平記念日立教育振興財団



● 日立家庭教育センター 親子教室講演会

茨城県日立市 日立家庭教育センターでは、2歳から3歳の子どもとその親と一緒に通う親子教室を1年間のプログラムで週1回開催しています。親教室では講師の先生による講演会を年に数回開催しており、7月19日は東京学芸大学 名誉教授 小川博久先生による「遊びってすごい!遊びの重要性」のテーマで講演会を行いました。先生から沢山の子育てキーワードをいただきましたのでご紹介します。

1. 赤ちゃんが泣いた時、なにが原因で泣いたのかの意味を母親が理解し応答することで、関係性ができ、遊び力の土台が育まれる。
2. 子どもの初めての遊びは大人の真似。大人は子どもに言葉で教えたがるが、親が日常の立居振舞を生き生きとすることができれば、子どもは心の中で親のやることを「かっこいい」と思い真似をする。
3. 遊びは子どもの表現そのものである。子どもの「認められたい」という思いを子どもの表情から感じ取ってあげたい。
4. 最近はまじめな子どもが多い。親は満足してしまうが、そのままだと子どもの心がそのうち折れてしまう。子どもの心を解放しよう。
5. 遊びは理屈ではない。親も楽しさを身体で表現することだ。それが遊びに通ずる。親に隠れて悪さをしたり、成功したり失敗したり泣いたりしながら、「良い加減」と「一生懸命」のバランスを学び、「折れない心」を育てている。お母さんがお説教くさい教育者になったらダメ。親も自分の心を解放して子どもの遊び心を分かちあってもらいたい。

日立みらい財団

● こども・みらい・サポート事業開催

日本BBS*連盟と共催で、子どもの健全育成と各地区のBBS会員同士の連携強化・スキルアップを目的として、第13回こども・みらい・サポートin青森「Nature ～今こそ自然に還るとき～」を、世界自然遺産登録20年を迎える白神山地で開催しました。地元の小学5・6年生30名が2泊3日の日程で集まりました。

1日目

BBSの戸田久信会長のご挨拶のあと、昨年の開催地の子どもたちが作成した「絆」の旗に書かれたメッセージで滋賀と青森の子どもたちの思いが「つながり」ました。

西目屋村にある「白神山地ビジターセンター」の巨大スクリーンで白神山地の四季や動植物の生態、森と人々の関わりについて映像で学びました。

その後宿泊する「アクアグリーンビレッジ ANMON」のコテージで、班に分かれて夕食のカレー作りをしました。



2日目

白神山地の樹齢400年を超える巨木の「マザーツリー」をめざしてトレッキングを行いました。1時間半のコースを元気に進んでいました。



お昼はコテージに戻りバーベキュー。疲れた体に美味しい「海の幸」と「山の幸」で体力回復! 午後のゲーム大会も盛り上がりました。



3日目

3日目の最終日は川遊びと岩木山観光りんご園でりんごと桃狩りをし、すべての行事が終了しました。



今回の実行委員長の「くぼちん」にお話をうかがいました。



私がこの事業の実行委員長に立候補したのは、去年の滋賀県の「こどもみらいサポート事業」に参加し、子どもたちのために活動するBBS会員の皆さんに出会ったからです。こんな方々がいらっしゃるなんて考えたこともありませんでした。この出会いから、私のBBS会員の活動がスタートしました。

今回実行委員長として色々大変でしたが、先輩方が支えてくださったので堂々と子どもたちの前に立つことができました。

先輩から「くぼちんに任せてよかった。」と言われた時は本当に嬉しかったです。

今回参加してくれた子どもたちが大きくなってBBSに入り一緒に青森で活動できるように、私もこれからずっとBBSに携わっていきたく思います。

今回参加したメンバー(あだな)	青森中央学院大学
弘前大学	3年…かきとも/2年…アトム
2年…くぼちん・えいちゃん・どんちゃん	明の星大学
あんぬ・なつちゃん	1年…ノンビ
1年…あつきー・げんちゃん	青森大学
青森大学	3年…たかまさ・つしー・うちくら・やまさん・さおりん
3年…たかまさ・つしー・うちくら・やまさん・さおりん	3年…たつちゃん
2年…みつきー	2年…しんちゃん・ゆーみん
1年…きよし	1年…せいっち

*BBSとは(Big Brothers and Sisters)の略。兄や姉のような身近な存在として少年たちが健やかに成長するお手伝いをする青年ボランティアです。

● 第36回竹内亀次郎記念杯日立市少年少女スポーツ育成大会

茨城県日立市の小学生が所属するスポーツ団体を対象とした「竹内亀次郎記念杯日立市少年少女スポーツ育成大会」を日立市体育協会と日立市スポーツ少年団本部の共催で8月24日・25日に開催しました。スポーツを通じて少年少女の健全な心身の育成と友情や連帯感を育てることを目的としており、野球・バレーボール・ミニバスケットボール・サッカー・バドミントンの80チーム1,033名の小学生が、各会場で力強い対戦を繰り広げ観客から熱い声援を受けていました。



● キックオフミーティング

7年間過ぎた秋葉原から東京駅前に2013年7月29日に移転いたしました。

今年の4月の理事長交代と、財団事務所移転のお披露目も兼ね、5財団合同キックオフミーティングを開催しました。このメンバーで財団活動をより活性化してまいります。今後とも、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。



新理事長と財団スタッフ



● 日立みらい財団 理事長 葛岡 利明	● 倉田記念日立科学技術財団 ● 日立環境財団 理事長 小豆畑 茂	● 小平記念 日立教育振興財団 理事長 田中 幸二	● 日立国際奨学財団 理事長 谷垣 勝秀
------------------------	---	---------------------------------	-------------------------

● 第18回 環境サイエンスカフェのお知らせ

「米国シェールガス開発の光と影
～環境リスクの視点から～(仮題)」

講師：藤田 和男さん(東京大学名誉教授)
日時：2013年11月27日(水) 18:00～
会場：サロン・ド・富山房Folio

詳しい内容・申し込み方法については、財団ホームページをご覧ください。
<http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/works/work04.html>

● 第24回 駒井メモリアル 家庭教育シンポジウム開催のお知らせ

子ども・子育て支援新制度と地域子育て支援 ～親と子のつどいの今、これから～

日時：2013年12月1日(日)
講演：奥山千鶴子:NPO法人びーのびーの 理事長
甲斐 恵美:風の谷保育園さかえ・こどもセンター
会場：日本女子大学新泉山館

詳しい内容・申し込み方法については財団ホームページをご覧ください。
<http://www.hitachi-zaidan.org/odaira/>

● 親子ふれあい工作教室 凧づくり・凧あげ(八王子BBS会に協賛)

<第1回目>

日時：2013年12月7日(土) 9:45～15:00
会場：八王子市立檜原小学校

詳しい内容・申し込み方法については財団ホームページをご覧ください。
<http://www.hitachi-zaidan.net/mirai/index.html>

<第2回目>

日時：2013年12月8日(日) 9:45～15:00
会場：八王子市立由井第一小学校



編集後記

春から夏にかけて財団の行事や引越などが続き、お伝えしたいことが満載の19号となりました。キックオフミーティングは日立製作所の現役員でもある理事長4名と5財団のスタッフ12名で行いましたので、そのときの写真を掲載しました。事務所は東京駅前に移転しましたので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



本ニュースレターに関するご意見・ご感想等がございましたら、財団までお寄せください。お待ちしております。

公益財団法人 小平記念日立教育振興財団
公益財団法人 倉田記念日立科学技術財団
公益財団法人 日立環境財団
公益財団法人 日立国際奨学財団
公益財団法人 日立みらい財団
日立ファウンデーション(米国)

✉ odairakinen@hdq.hitachi.co.jp
✉ kurata@hdq.hitachi.co.jp
✉ kankyo@hdq.hitachi.co.jp
✉ scholarship@hdq.hitachi.co.jp
✉ mirai@hdq.hitachi.co.jp
✉ shakai.koken.qm@hitachi.com

TEL 03-5221-6675
TEL 03-5221-6678
TEL 03-5221-6677
TEL 03-5221-6679
TEL 03-5221-6675
TEL 03-4564-5040

*日立ファウンデーションについてのお問い合わせは(株)日立製作所 CSR本部 社会貢献部まで。
所在地 〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービル12階

FAX 03-5221-6680

財団ホームページ ▶▶▶ www.hitachi-zaidan.org



発行日:2013年10月1日発行
発行責任者:神山 和也
編集責任者:寺村 奈津季
印刷:(株)日立ドキュメントソリューションズ